



第6号 令和4年10月7日(金)発行
 ひたちなか市立田彦小学校
 児童数862名 実家庭数677名

1年遠足(アクアワールド大洗)



9月29日(木)1年生遠足。アクアワールド大洗に行きまして、到着してすぐ、イルカショーでした。当日はたくさんの来館者がおり、イルカさんもはりきって何度も豪快なジャンプをしていました。その度に1年生の大きな歓声があがりました。その後はグループで、館内大冒険です。マンボウ、サメ、クラゲ、ゴマフアザラシ、ペンギン、アシカなど



など、たくさんの海の生き物に出会い、きらきら輝く笑顔いっぱいの遠足でした。

3年遠足(笠間・焼き物体験)



9月30日(金)3年生遠足。笠間の大津晃窯・笠間芸術の森公園に行きまして、焼き物作り体験でした。子供たちは事前に考えていったお皿、コップ、ご飯茶碗、置物など、形を工夫したり、すてきな模様を描いたりして、楽しそうに作品を作っていました。焼き上がりは12月の頃に送られてくるそうです。どんな作品になるか、楽しみですね。



次は笠間芸術の森公園で、青空の下、お弁当を食べ、思いっきり遊びました。ロング滑り台や芝滑りを楽しんだり、大の字になって芝生に寝転んだり、全力で遊ぶ姿が子供らしくとても微笑ましかったです。

令和4年度全国学力・学習状況調査について

先週、6年生一人一人には、全国学力・学習状況調査の結果を返却しました。本校は、国語は全国平均を上回っており、特に算数と理科は全国平均を大きく上回っております。しかし、全国平均は上回っても、本校の課題はございます。

- 国語:** 「異なる立場からの考えを理解し、様々な視点から自分の考えを広げたりまとめたりする問題」に課題がある。話し合いを通して、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることにも気付けるように指導していきたい。
- 算数:** 「数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかを問う割合」の問題に課題がある。飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の濃さを表していることなど、日常の具体的な場面に対応させながら指導していきます。
- 理科:** 「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる問題」に課題がある。結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定する授業を工夫していきたい。

学力向上のための手立てとして、①ペアやグループ活動を取り入れ、主体的に学習に取り組めるようにします。②個々の学習目標を明確にして振り返りを大切にします。③理科専科の教員が専門的な知識をもとに興味関心をもって学習にのぞめるような教材を用意したり、外部講師にきてもらい理科の授業を行ったりします。④タブレットを活用した視覚的に分かりやすく効率的な学習を取り入れていきます。

このような手立てをもとに、コロナ禍においても学力が低下しないよう、授業改善をして参ります。「平均は全国を上回っている」という言葉に惑わされず、児童一人一人の学習状況に応じた効果的な学習ができるよう努力して参ります。